

建設

KENSETSU

未来通信

7月2日(木)

2026年(令和8年)

発行所:茨城県水戸市笠原町1523-3 桂ビル2階

TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854

https://www.kensetsumirai.co.jp

建設未来通信社

27年秋の開業が決定

桜川SC ベイシアや飲食店など

来年1月建築着工目指す



▲桜川SC (仮称) イメージ図

桜川市内で開発が進む商業施設「桜川ショッピングセンター(SC)」(仮称)について、6月27日に地権者説明会が開催された。開業時期は2027年秋に決まり、テナントは「ベイシア」のほか、ドラッグストアが開店予定。同年夏には牛丼やとんかつ等を提供する「松屋・松のや」(複合店舗)を含む飲食店3店舗が先行して開店する。今年の夏以降の早い段階で大店立地法の届け出を行い、年内の土木工事を完了、来年1月の建築工事を着手を目指す。

インスタUP

テナントは現在も募集中で、最終的に10〜15店舗が入る見込み。

地権者説明会では、開発を進める日計商事(株) 本泉佐野市・小林昌也代表取締役)やベイシアの担当者、造成工事等を進める関

東道路・田口建設・のみや工務店JV(代表者・武藤正浩)東道路代表取締役)等から説明を実施。

小林代表取締役は「ようやく正式なスケジュールを皆様に発表できる。今後、さらにテナントが増えるよう営業を続けるので、引き

続き協力、ご支援をお願いしたい」と話した。

田口建設の田口伸代表取締役は、工事の進捗について説明した。

予定地は国道50号沿い南側で、大和駅北公園の北側に位置する。敷地面積は約8ha。北関東自動車道桜川筑西インターチェンジ周

辺地区開発の一環として進められている。現状では、建物の総延べ面積は約1万5000〜2万m²程度の規模を想定している。

ベイシアの業務形態は、生活に密着した衣食住を総合的に扱う店舗形態「スーパーセンター」のスタイルとなる予定。延床面積は約

7000m²を想定。桜川筑西IC周辺地区開発は、周辺で住宅地の整備も進んでいる。また、SC予定地エリア内では、桜川市が道の駅の設置も検討。候補地として割り当てられる面積は1万1670m²ほど。道の駅の導入機能について

ては、トイレや駐車場など休憩機能、屋内外の休憩スペース、情報発信機能、多目的スペースや交流空間などの地域連携機能、物販・飲食機能などを視野に入れる。現在は、事業者の出店ニーズを調べるためのサウンディング型市場調査を実施している。